

自由金利型定期預金（M型）規定【単利型】

1.（預金の支払時期）

この預金は、通帳・証書記載の満期日以後に利息とともに支払います。

2.（利息）

(1) この預金の利息は、預入日から満期日の前日までの日数および通帳・証書記載の利率（以下「約定利率」といいます。）によって計算し、満期日以後にこの預金とともに支払います。

ただし、預入日の2年後の応当日から預入日の5年後の応当日までの日を満期日としたこの預金の利息の支払いは次によります。

①預入日から満期日の1年前の応当日までの間に到来する預入日の1年毎の応当日を「中間利払日」とし、預入日または前回の中間利払日から、その中間利払日の前日までの日数および通帳・証書記載の中間利払利率によって計算した中間利払額（以下「中間払利息」といいます。）を、利息の一部として、各中間利払日以後に、あらかじめ指定された方法により次のとおり支払います。

なお、預入日の2年後の応当日を満期日としたこの預金（以下「自由金利型2年定期預金（M型）」といいます。）に限り、中間払利息を定期預金とすることができます。

A. 現金で受取る場合には、当行所定の支払請求書に届出の印章により記名押印してこの通帳・証書とともに提出してください。

B. 預金口座へ振替える場合には、中間利払日に指定口座へ入金します。

C. 定期預金とする場合には、中間利払日にその自由金利型2年定期預金（M型）と満期日を同一にするこの預金（以下「中間利息定期預金」といいます。）とし、中間利息定期預金の利率は、中間利払日における当行所定の利率を適用します。

②中間払利息（中間利払日が複数ある場合は各中間払利息の合計額）を差引いた利息の残額は満期日以後にこの預金とともに支払います。

(2) 利息分割受取型の取扱い

預入日の1年後の応当日から5年後の応当日を満期日としたこの預金について、利息分割受取型の中間利払周期の指定を受けたときは、利息はあらかじめ指定された中間利払周期毎に分割し、次により取扱います。

①分割した利息の支払日

あらかじめ指定された中間利払周期に応じて、満期日前に到来する次の日の分割した利息の支払日（以下「利息支払日」といいます。）とします。

A. 中間利払周期が1か月ごとの場合……………預入日の1か月ごとの応当日

B. 中間利払周期が2か月ごとの場合……………預入日の2か月ごとの応当日

C. 中間利払周期が3か月ごとの場合……………預入日の3か月ごとの応当日

D. 中間利払周期が6か月ごとの場合……………預入日の6か月ごとの応当日

②分割した利息の取扱い

前記①による利息支払日ごとに、預入日または前回の利息支払日からその利息支払日の前日までの日数および通帳・証書記載の約定利率によって計算した利息（以下「分割払利息」といいます。）を、利息の一部としてあらかじめ指定された預金口座に入金します。

③分割払利息（利息支払日が複数ある場合は、各分割利息の合計額）を差引いた利息の残高は、満期日以後にこの預金とともに支払います。

(3) この預金の満期日以後の利息は、満期日から解約日または書替継続日の前日までの日数および解約日または書替継続日における普通預金の利率によって計算し、この預金とともに支払います。

(4) この預金を定期預金共通規定第3条第1項の規定により満期日前に解約する場合および定期預金共通規定第3条第4項の規定により解約する場合には、その利息（以下「期限前解約利息」といいます。）は、預入日から解約日の前日までの日数および次の預入期間に応じた利率（小数点第4位以下は切捨てます。ただし、解約日における普通預金の利率を下回るときは、解約日における普通預金の利率とします。）によって計算し、この預金とともに支払います。

ただし、中間払利息が支払われている場合には、その支払額（中間利払日が複数ある場合は各中間払利息の合計額）と期限前解約利息との差額を清算します。

①預入日の1か月後の応当日から預入日の3年後の応当日の前日までの日を満期日としたこの預金の場合

- A. 6か月未満 解約日における普通預金の利率
- B. 6か月以上1年未満 約定利率×50%
- C. 1年以上3年未満 約定利率×70%

②預入日の3年後の応当日から預入日の4年後の応当日の前日までの日を満期日としたこの預金の場合

- A. 6か月未満 解約日における普通預金の利率
- B. 6か月以上1年未満 約定利率×40%
- C. 1年以上1年6か月未満 約定利率×50%
- D. 1年6か月以上2年未満 約定利率×60%
- E. 2年以上2年6か月未満 約定利率×70%
- F. 2年6か月以上4年未満 約定利率×90%

③預入日の4年後の応当日から預入日の5年後の応当日の前日までの日を満期日としたこの預金の場合

- A. 6か月未満 解約日における普通預金の利率
- B. 6か月以上1年未満 約定利率×10%
- C. 1年以上1年6か月未満 約定利率×20%

- D. 1年6か月以上2年未満 約定利率×30%
- E. 2年以上2年6か月未満 約定利率×40%
- F. 2年6か月以上3年未満 約定利率×50%
- G. 3年以上4年未満 約定利率×60%
- H. 4年以上5年未満 約定利率×70%

④預入日の5年後の応当日を満期日としたこの預金の場合

- A. 6か月未満 解約日における普通預金の利率
- B. 6か月以上1年未満 約定利率×10%
- C. 1年以上1年6か月未満 約定利率×20%
- D. 1年6か月以上2年未満 約定利率×20%
- E. 2年以上2年6か月未満 約定利率×30%
- F. 2年6か月以上3年未満 約定利率×30%
- G. 3年以上4年未満 約定利率×50%
- H. 4年以上5年未満 約定利率×60%

(5) この預金の付利単位は1円とし、1年を365日として日割で計算します。

3. (中間利息定期預金)

(1) 中間利息定期預金の利息については、第2条の規定を準用します。

(2) 中間利息定期預金については、原則として預金証書の発行、または、通帳への記載は行わないこととし、次により取扱います。

- ①中間利息定期預金の内容については別途に連絡します。なお、印鑑はこの預金の届出印鑑を兼用します。
- ②中間利息定期預金をこの預金とともに解約または書替継続するときは、当行所定の払戻請求書（または、証書式の場合は証書裏面の受取欄）に届出の印章により記名押印して通帳・証書とともに提出してください。
- ③中間利息定期預金のみを解約または書替継続するときは、当行所定の払戻請求書に届出の印章により記名押印してこの通帳・証書とともに提出してください。

4. (定期預金共通規定の適用)

この預金には、本規定のほか「定期預金共通規定」が適用されるものとします。

以上

(2020年4月1日現在)